

## 研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-132	A-133	22-050	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>			
Alcohol use among Australian parents during the COVID-19 pandemic - April-2020 to May 2021 COVID-19 パンデミック期間中のオーストラリアの保護者のアルコール使用-2020/4-2021/5			
<b>執筆者</b>			
Greenwood CJ, Fuller-Tyszkiewicz M, Hutchinson DM, Macdonald JA, Bereznicki HGK, Youssef GJ, Westrupp EM.			
<b>掲載誌</b>			
Addict Behav. 2023 Mar;138:107561. doi: 10.1016/j.addbeh.2022.107561.			
<b>キーワード</b>			<b>PMID</b>
COVID-19、コロナウイルス、アルコール、トラジェクトリー、オーストラリア、人口動態			36473249
<b>要 旨</b>			
<p><b>目的：</b>本研究では、COVID-19 パンデミック期間中の 2020 年 4 月から 2021 年 5 月にかけて、オーストラリアのビクトリア州（世界で最も長い封鎖を経験した州）の保護者におけるアルコール使用頻度の軌跡を、オーストラリアの他の州（比較的少ない制限を経験した州）の保護者と比較して検討した。さらに、ベースラインの人口統計学的因子が、保護者のアルコール使用の軌跡の変化とどの程度関連しているかを調査した。</p> <p><b>方法：</b>COVID-19 Pandemic Adjustment Survey（0～18 歳の子どもを持つ親 2,261 人）からデータを得た。アルコール使用頻度は 13 回にわたって評価された。ベースラインの人口統計学的予測因子は、親の性別、年齢、英語以外の言語を話すこと、子供の数、パートナーシップの有無、学歴、雇用、収入などであった。</p> <p><b>結果：</b>全体的にアルコールの軌跡は時間の経過とともに減少した。ビクトリア州の保護者は他州の保護者と比較して、2020 年のアルコール使用頻度の減少は小さく、2021 年の減少が顕著であった。女性・その他の性別、家庭で英語以外の言語を話す、失業、低所得（ビクトリア州のみ）は、アルコール使用頻度が低い軌跡と関連し、高齢は使用頻度が高い軌跡と関連していた。</p> <p><b>結論：</b>COVID-19 の制限を反映したアルコール依存症の軌跡は、ビクトリア州とオーストラリアの他の州を比較した場合、わずかに異なることが示唆された。社会経済的に恵まれた集団は、アルコール使用頻度が上昇するリスクが最も高かった。飲酒行動を減らすためには、集団レベルのサポートが有益となる可能性がある。</p>			